



かえでの森



第112号 2025年12月1日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360
(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <https://www.fukusei.jp/>



《理念》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として 喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します



マリアの家をご利用ください

小規模多機能型居宅介護事業所マリアの家
管理者 小野 雄大

今年はインフルエンザの流行が例年より早く拡大しており、小規模多機能型居宅介護事業所マリアの家（以下、マリアの家）でも、感染防止に最大限の注意を払っております新型コロナウイルスが蔓延していた頃には、残念ながらクラスターが発生してしまい、ご利用者様やご家族様には大変ご迷惑をおかけしてしまいました。そのことを教訓とし、職員一同感染防止対策に努力しております。

さて、私が子供の頃だったと思いますが「核家族」と言う言葉ができました。祖父母と同居せず親子だけの世帯で生活する人たちを示す言葉です。現在では、子供との同居もせずに夫婦のみの世帯や、一人暮らしをする世帯も増えてきており、「家族」で生活するスタイルそのものが、大きく変化している時代となりました。それに伴い、ご自宅で病気療養される方はほとんどなく、病院へ入院したり、施設へ入所することが主流となりました。ご自宅で病気の人を支えるという考え方には、ほとんど無くなってしまったように感じていました。

しかし、地域包括ケアシステムが呼ばれるようになってからは、徐々にですがご自宅で病気療養される方が増えてきています。往診や訪問診療、また訪問看護や訪問介護などのサービスを利用しながら、ご自宅での生活を続けておられます。そして、その生活のお手伝いをするのが「マリアの家」です。宿泊や通い、訪問介護などを組み合わせながら、ご自宅での生活を続けていただけるようお手伝いしております。「家族」の在り方は変わりましたが、人が人を支える方法は様々です。「マリアの家」のようなサービスをご利用いただき、住み慣れたご自宅で生活できるように、お手伝いさせていただければ幸いです。





秋の収穫祭

栄養課 鈴木一枝

栄養課では毎年、秋の収穫祭とクリスマス会の2回デザートの提供を給食委託業者のエームサービスさんの協力により行っています。例年ですとホスピスの畑で採れたさつま芋を使ってデザートを作るのですが、今年はさつま芋が数本しか収穫できなかつたので、マリアの家の畑で収穫したさつま芋と合わせて、「ふかし芋」にして提供しました。少量でしたが甘くて美味しかつたです。今年のメニューは「パンプキンプリン」「水ようかんゼリー」「マロンケーキ」「レアチーズケーキ」「スイートポテト」の5種類。デザートの提供はバイキング形式で、大皿に盛り付けたものの中から、患者様に好きなものを選んでもらいます。メニューの説明をさせてもらった時、患者様のキラキラとした目の輝きが今でも忘れられません。「早く、説明はいいから、食べたいよ～、食べさせて」と心の声が伝わってきました。いつもの食事とは違った嬉しそうな表情を見られて、こちらまで幸せな気持ちになりました。

次回は12月17日（水）のクリスマス会です。メニューは何にしようかな？患者様に笑顔と喜びが届けられるように、エームサービスさんと協力してこれからも頑張っていきたいと思います。楽しみにしていてください。

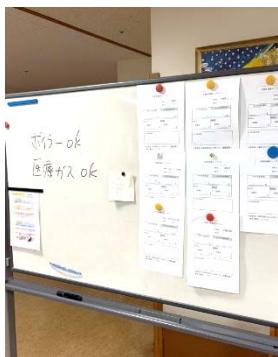


合同避難訓練

事務部 後藤和也

今年度の合同避難訓練は11月14日（金）に実施しました。訓練の内容は院内の放送設備が故障した場合を想定し、発災後から状況確認と情報収集、対策本部の立ち上げと連絡手段の確保を行いました。

放送設備が故障すると、対策本部からの指示や情報がダイレクトに届かないため、情報発信の方法を考える良い機会となりました。また、火災が起こっていても火災発生の放送が流れないため、非常用発電機による電気の復旧時は特に注意が必要と感じました。大きな地震によって部屋の物が倒れたり動いたりした際に、コンセントに刺さっている電気の配線が断線する事があります。そんな時に電気が復旧してしまうと、火災の原因となり得ます。今まで起こっていないから大丈夫ではなく、当たり前に使えると思っていたものが使えなくなることを想定しておくことも、いろいろな気づきに繋がると改めて感じました。



令和7年度 遺族ケア

追悼ミサ

当院ではカトリック教会の「死者の月」にあたる11月に、遺族ケアとして追悼ミサと茶話会を開催しております。令和6年7月1日から令和7年6月30日に亡くなられた皆様を追悼するミサが11月3日に病院聖堂にて執り行われました。

ホスピス、介護医療院、マリアの家、マリア診療所、訪看マリアで165名の患者様が天国へ旅立たれ、ご参加いただきましたご家族様と共に祈りをささげることができました。ミサにて、お名前を読み上げる際に日々のケアでの出来事や、忘れられないエピソードなどが思い出され感謝の気持ちでいっぱいになりました。訪問看護は、患者様のご自宅に訪問しケアを提供する仕事です。病院施設とは異なり私達スタッフを自宅へ受け入れていただくところから始まります。生活の場に入り関わる中で院内とは違った、沢山のことを教えていただいております。ご家族の皆様と久しぶりにお話をすることができ、大切な方への思いを共有することができスタッフ一同うれしく思いました。

亡くなられた皆様の魂が天国の神様のもとで、永遠の安息につけますよう心よりお祈り申し上げます。



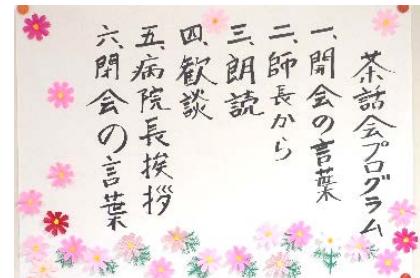
茶話会

在宅支援 草野三千代

追悼ミサのあと外来ラウンジで茶話会を開催し、54名のご家族様に参加していただきました。

臨床スピリチュアルケア師の大島さんに『わすれられないおくりもの』を朗読していただきました。感慨深い内容で、聞いていた皆様と心地よい時間を過ごすことができました。その後スタッフと共に歓談させていただきました。ご家族皆様と共に振り返り、その時の気持ちやケアなど様々な事を共有でき、その当時の思い出がより一層深りました。

御足労いただいたご家族の方々に感謝し、今後のケアや関わりに活かせるように精進していきます。



今回のおすすめ

『 日本酒 寒菊銘醸 』



寒菊 晴日

今回のおすすめは、寒菊銘醸の日本酒です。千葉県の九十九里地区にある130年の歴史を持つ日本酒製造所で、昔ながらの手仕事と厳正な品質管理により生まれる日本酒です。酸味と甘みのバランスが良く、フルーティーで飲みやすいお酒です。特に“晴日”を初めて飲んだ時には美味しさに感動しました。パッケージも綺麗でお正月にもぴったりの日本酒です。通販でも購入できるようですが、売切れのことが多いようです、日本酒好きな方なら、店頭などで見つけたらぜひ手に取ってください。
寒い冬を、お酒で温まって一緒に乗り越えましょう。

(紹介者 訪看マリア 桐生彩花)

内科外来担当表

緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	江藤秀顕	吉津紗綾香	江藤秀顕	江藤秀顕	吉津紗綾香	江藤秀顕 (第1,3,5週) 第2,4週休診	休診
午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診	休診

インフルエンザワクチン・コロナワクチン接種の予約を承っております。

年末年始の休診のお知らせ

12月25日(木)、12月30日(火)～1月4日(日) 休診とさせていただきます。



小規模多機能型居宅介護事業所 マリアの家 見学に来ませんか？

歌ったり、独自のゲームで楽しんだり、自然豊かな敷地内と一緒に散策しませんか？

皆さんに楽しめるレクリエーションを計画・実施いたします。まずはお気軽に遊びに来て下さい。

また、介護保険について・介護相談・高齢者一人暮らし中の不安など、お気軽にご相談ください。

通い・宿泊・訪問介護 随時お受けいたしております。



連絡先

〒412-0033 御殿場市神山 738-44

☎0550-87-3880 FAX0550-87-3887 担当 小野・衛藤



医療安全推進週間について



厚生労働省では、平成13年から「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動（PSA）」と命名し、総合的な医療安全対策を推進しています。その取組の一環として11月25日（いい医療に向かってGO）を含む1週間を「医療安全推進週間」と定め「世界患者安全の日」と共に、医療関係者の意識の向上につとめています。（厚労省HPより抜粋）

神山復生病院では、今年度医療安全標語の募集に取り組みます。入賞作品は玄関ホールに掲示しますので、来院の際にぜひご覧いただければと存じます。

（看護部長 杉山美貴子）



編集後記

夏、暑いなーしかも長いと思っていたら、もう12月巷ではインフルエンザが猛威をふるっています。今年日本で初めての女性内閣総理大臣が誕生し、多くの政策が掲げられ動き出しましたが、希望に満ちた状況かというとそうでもなく、なにやら混沌とした状況です。どこもかしこもそんな状況ですが、とにかく健康でないと始まりません。今季の冬は寒くなる予想も出ていますので、ウイルスや細菌その他諸々、負けずに年末年始笑顔で元気に過ごせるよう頑張りましょう。



次号もお楽しみに！